

第 14 回日本がん相談年次大会プログラム プレセミナー（オンライン）

2026年3月6日（金） 18:00～19:00（17:30 入室開始）

プレセミナー

18 : 00-19 : 00

被災したあなたを助けるお金とくらしの話

演者 岡本 正（銀座パートナーズ法律事務所 弁護士・博士（法学）・気象予報士）

司会 塩見 美幸 （愛媛大学医学部附属病院）

第14回日本がん相談年次大会プログラム

2026年3月7日（土）10:00～16:00（9:00 開場）四国がんセンター 本館3階研修室

総合司会 小田 優子（香川大学医学部附属病院）

開会のあいさつ 福島 美幸（四国がんセンター） 10:00-10:05

基調講演 10:05-11:05

「被災地の経験から考えたこと・できたこと・伝えたいこと」

◎病院機能喪失となり患者さんを送り出した地域拠点病院相談員の立場から

緒方美穂（熊本市立熊本市市民病院 看護師）

◎都道府県がん診療連携拠点病院として患者を受け入れた相談員の立場から

安達美樹（熊本大学病院 看護師）

座長 福島 美幸（四国がんセンター）

シンポジウム 11:05-12:35

「がん患者支援における実際、そして準備と覚悟～大地震発災から1週間のために～」

シンポジスト

被災経験のある県の相談員

小野 貴史（宮城県立がんセンター）

斎藤 慎也（福島県立医科大学附属病院）

若木 千恵（公立能登総合病院）

四国の取り組み

納田 広美（香川大学医学部附属病院）

松本 陽子（NPO法人愛媛がん患者サポートおれんじの会）

座長 小野 貴史(宮城県立がんセンター)・関木 裕美(四国がんセンター)

昼食（総会） 13:35-13:45

一般演題 13:45-15:55

第1部 座長 酒見 惇子（神戸大学医学部附属病院）

三木 晃子（大阪公立大学大学院）

第2部 座長 山田 麻記子（東京科学大学病院）

岸田 さな江（獨協医科大学病院）

閉会式 次期大会長あいさつ 赤地 桂子（済生会川口病院） 15:55-16:00

一般演題 I 口演

座長：神戸大学医学部附属病院 酒見惇子 座長：大阪公立大学大学院 三木晃子

- I-1. 「災害にそなえる」神奈川県の取り組み
～2025年度愛媛県合同災害時関連情報入力シミュレーションを実施して～
地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立がんセンター 松尾 里香
- I-2. 『できるだけのことをしたい』思いを支えた相談支援の一例
埼玉県済生会川口総合病院 赤地 桂子
- I-3. がん相談支援センターの顔のみえる周知による仕事相談の変化
青森県立中央病院 坂本 周子
- I-4. A病院におけるがんサロン活動の取り組み
香川労災病院 岩田 尚子
- I-5. 終末期がん患者の療養場所移行における実働者の希望と調整日数の関連
国立病院機構大阪医療センター 長谷川 友美

一般演題 II 口演

座長：東京科学大学病院 山田麻記子 座長：獨協医科大学病院 岸田さな江

- II-1. がん患者の“働きたい”に応える～長期療養者就職支援事業の6年とこれから～
埼玉県済生会川口総合病院 竹内 潤子
- II-2. 看護部が支えるがん患者の治療と就労の両立支援
～看護師を中心とした就労支援フローの体制化と加算算定への影響～
聖路加国際病院 橋本 久美子
- II-3. がん専門相談員の基礎研修の提供拡大の試み第1報：提供主体が異なる研修の同質性の検証－
国立がん研究センターがん対策研究所 高橋 朋子
- II-4. がん専門相談員の基礎研修（3）の提供拡大の試み第2報－受講者の研修成果に関する質的分析－
国立がん研究センターがん対策研究所 櫻井 雅代
- II-5. 日本がん相談研究会将来構想委員会活動報告
神奈川県厚生連相模原協同病院 波多江 優

一般演題 示説

1. がん相談支援センターにおける日本語を母国語としない患者に関する相談の実態
神戸大学医学部附属病院 酒見 惇子
2. がんサロン「ほっとさろん・たかさき」の評価と課題
独立行政法人 国立病院機構 高崎総合医療センター 櫻井 史子
3. 行政とがん相談員で紡ぐがん患者ピアサポーター養成－ピアの希望をつなぐための役割と課題－
獨協医科大学病院 岸田 さな江
4. 全国のがん相談支援センターにおけるフィードバック体制の現状と課題
国立がん研究センター 宮本 紗代